いたる通信 55 新年号

ITARU CENTER

目次 contents

01 いたるセンター
02 あけぼの作業所
クローバー・マルコ
いたる相談室
すまいる高井戸
03 いたる地域ケアセンター
PukuPuku
さんまるしぇ
04 目黒本町福祉工房
阿佐谷福祉工房
イタール成城

昨年11月末時点のイタール成城の全景

平成27年　年頭所感

社会福祉法人いたるセンター
理事長　谷山（たにやま）　哲浩（てつひろ）

明けましておめでとうございます。旧年中は多大なるご支援をいただき、誠に有難うございました。

おかげさまで、3年をかけて整備してきた当法人初の世田谷区の障害者複合型施設「イタール成城」が、本年4月にオープンします。生活介護・短期入所・共同生活援助から成る、我が国でも有数の高級住宅街に整備する施設で、ご利用者様の重度化・高齢化に対応するため、医療的ケアに注力することが大きな特徴です。

地域福祉ニーズに応えるこの取り組みは、世田谷区の皆様はもとより、東京都からも大きな期待が寄せられております。当法人は知的障害者への支援で高い評価をいただいておりますが、目黒本町福祉工房において身体障害者への対応を強化しました。さらに、医療的ケアという新たな課題に挑戦し、法人および職員が一丸となって研鑽を重ね、ご期待に添うべく努めてまいります。

また、社会福祉法人いたるセンターには、世のため人のためお役に立ちたいと願って、福祉や介護の仕事を選択した職員が集っています。職員一人ひとりが、その個性や志向に合わせてキャリアアップでき、いまの仕事を天職とするために、新たに法人独自の制度「イタール・マイスター」をスタートします。

マイスターとは、ドイツで発展した職人の資格制度で、これをベースにプロフェッショナルな職員を目指してもらいます。具体的には、①介護系スタッフは、医療的ケアを含む専門知識とスキルを磨く②就労系スタッフは、企業や市場が求める商品開発に努める③保育・教育系スタッフは、福祉ニーズに応える人材育成に寄与することを目標とします。職業訓練研修を修了した者は、次なるミッションとして、社会的弱者（障害者・高齢者等）の自己実現を支援することが最終的な目的となります。

その第一弾として本年2月からスタートするのが、「清掃マイスター」です。選抜された職員を対象に、株式会社シーバイエスとのコラボレーションで、「清掃マイスタープログラム」による研修を行います。将来的には、家事代行業やハウスクリーニング業、ビルメンテナンス業へと雄飛します。障害者雇用の推進を行える社会起業家を育て、社会貢献に寄与する人材の輩出に努めてまいります。

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。
「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。
年会費　1口5千円（何口でも可）
郵便振り込み　00110-7-12892
問 3392-7346　事務局　山本まで

目黒本町福祉工房

目黒本町福祉工房・分室構想

統括リーダー　浅野（あさの）　鋭一（えいいち）

平成27年4月より、目黒区中央町にあるスマイルプラザで食品事業を活動として行う事になりました。目黒本町として初めての食品事業に挑戦することは、ご利用者様にとってもお菓子職人を目指せるような魅力的なお仕事として今後活動できたらいいと思っています。

分室では、自主生産品として「ジャム」と「ショコラ」を中心とした商品を企画しています。安心してご利用いただけるように環境を整え、安全で付加価値の高い商品を提供していきたいと思っています。

冷凍庫をはじめ本格的な食品製造機器も整備

学校の教室だったスペースを再利用

商品については、福祉ショップ「さんまるしぇ」や「にぎやかな風」などを通じて販売していく予定となっています。お客様に喜ばれるような「ギフト」として、また、愛されるような手作りショコラを皆様へお届けできるように準備していきます。

目黒本町の自主生産品は、これまでご愛顧いただいているシルク印刷商品（Tシャツやバック）「干支土鈴」に加え、食品（ショコラ・ジャム）といった主力商品を充実させていきますのでよろしくお願いいたします。また、羊の干支土鈴完売御礼申し上げます。

阿佐谷福祉工房

ご利用者様の自立と共生に向けた取り組み

施設長　佐藤（さとう）　章（あきら）

新屋舎で3度目の正月を迎えました。

近年の福祉サービスの動向として、就労継続支援B型事業部だけでなく、生活介護事業部でも工賃アップの取り組みが始まっています。

当施設は、46年前の法人設立時より、国や都に先駆けて、日中活動は働く場とし、所得保障を目指し、システム作りや人財育成に積極的に取り組んできました。いわゆる「措置入所」の時代からも積極的に生産活動に取組み、「契約入所」の時代に入り、工賃アップを実践しています。

特にB型事業部においては、現在、中期目標月平均工賃5万円ですが、現在16名の在籍者の内数名の方が、3万円前後になっております。生活介護事業部でも中期目標月平均工賃3万円ですが、45名在籍者の月平均工賃が1万円を超えております。

ご利用者様は、自分で稼いだ工賃で本やビデオを買ったり、借りたり、カラオケを楽しんだり、プラモデルを製作したりと、それぞれの趣味に活かすなど、自己選択でお金を使うという機会も多くなってきています。

当施設は、就労以外にもご利用者様が地域で日々楽しく過ごしていただけるように、区民まつりをはじめ、地域イベント、スポーツ・レクリエーション大会などへの参加や協賛を行なうなど、特別活動にも力をいれています。昨年11月には、それまでの施設公開を「阿佐福まつり」に改め、地域の一般の方に楽しんでいただけるような取り組みを始めています。

当施設は、これからも生産活動と創作活動の両輪で杉並区で、東京で、日本で、世界で「No・1」施設といわれるよう頑張りますので、皆様の応援・ご協力よろしくお願いします。

「阿佐福まつり」の様子

イタール成城

法人本部より

4月開所に向けて

平成26年2月の着工以来、順調に工程を重ね、工期の遅れなく本年2月に竣工を迎える、障害者複合型施設「イタール成城」。

閑静な住宅街に位置し、保育園や高齢者施設、公園に囲まれた施設です。東京都および世田谷区との調整も進んでおり、入居希望者や通所希望者との面談等も始まりました。備品等の整備も順次進めてまいります。

「イタール成城」に新たに配属される職員スタッフ一同が力を合わせ、4月の開所に向けて懸命に努めてまいります。

ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

いたる広報委員
発行責任者＝谷山　哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL：03-3392-7346
FAX：03-3391-8039
Eメール：info@itarucenter.com
HP：http://www.itarucenter.com/
発行日／平成27年1月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。

あけぼの作業所

変わるもの～変わらないもの

施設長　荻野（おぎの）　路子（みちこ）

当作業所のご利用者様や保護者の皆様の高齢化が、年々深刻化しつつあります。

これは当事業部のみならず、いたるセンター全体が抱える問題であり、この解決が法人の課題でもあります。

杉並区内で障害を抱える方々が利用されているサービスを見ますと、「福祉タクシー券受給」、「移動支援」、「相談支援」が上位を占めており、高齢化・重度化にともなう移動の制約などが浮き彫りになっています。

平成25年4月1日に施行された障害者総合支援法は、「制度の谷間のない支援と地域生活支援体系の整備」を目的とし、新たな障害福祉ニーズの変化に応えるために整備されました。

ご利用者様を取り巻く状況が大きく変わる中、あけぼの作業所では、新たな法体系に即応したサービスの提供にチャレンジしてきました。しかし、「どのような障害があろうとも、働くことを支援し働く喜びを与え、また工賃を得ることによって社会と繋がる環境をつくる」という使命が変わることはありません。

時代に左右されない使命を果たしながら、ご利用者様、保護者の皆様、地域の方々のお力をお借りして、あけぼの作業所の歴史を綴ってまいりたいと存じます。

クローバー・マルコ

今期の取り組みとその経過報告

マネージャー　影山（かげやま）　仁美（ひとみ）

洗濯器と乾燥器がそろってます

クローバーは、平成26年度、ご利用者様とそのご家族が地域で安心して暮らせるセーフティーネットの役割を果たすべく、事業所の重点目標を掲げて運営してきました。

現在までの取り組み内容と経過を今回ご報告いたします。

①ＩＳＯ９００１の取得を通して、ご利用者様へのより良い品質、かつ公平なサービスの提供。こちらは、ご利用者様に直接関わる支援と間接的に関わる様々な点をマニュアル化するとともに、それらを適宜使えるよう導入しました。

ご利用者様の個々の状態に応じた支援ができるようになっています。②洗濯サービスを開始し、ご要望にお応えしていく。こちらは、乾燥機を導入して5月下旬から開始しました。宿泊利用をご希望の方に無料で行っています。多くの方にご活用いただき、宿泊荷物が少量で助かるというお声をいただいています。

今後も皆様のお役にたてるよう努めていきます。

いたる相談室

サービス等利用計画（交付）について

室長　渡邉（わたなべ）　紀子（のりこ）

既にサービス等利用計画を作成している皆さまは、サービスの更新前になりますと、相談支援事業所から案内の連絡があると思います。現在お使いのサービスに満足しているか、ご家庭やご本人に変わりはないか等、お話を伺った上、必要であればサービスの変更を、特に問題がなければ更新の手続きを行います。サインを頂いた再計画書は、認定給付会議にかかり新しい受給者証が発行されます。お手元に新しい受給者証が届くと相談支援事業所にも杉並区から連絡があり、サービス等利用計画（交付）が出されます。

これは相談支援事業所がお出しするもので、皆さまのお宅に届くのと同時にサービスを提供している各事業所にも同じものを送ります。サービス等利用計画をもとに各事業所は更に具体的な個別支援計画を成し、適切なサービスが皆さまのところへ届きます。

すまいる高井戸

開所3年目の役割について

相談員　山﨑（やまさき）　智子（ともこ）

明けましておめでとうございます。今年4月で3年目に入ります。

昨年度から継続して取り組んでいる、地域の方に障害の方を理解してもらうための手作りえほん展は、昨年3回目を開催し、大勢の方に来所してもらいました。今年も、第4回目を開催いたします。

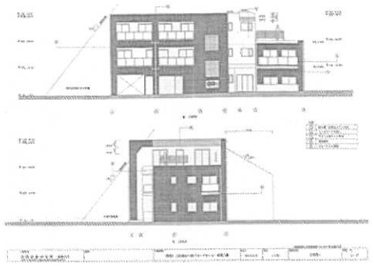
地域住民の方とご利用者様の交流として、コラージュの講座も開催しました。このような機会を今後も作っていきたいと思っています。

また、介護保険を含む高井戸エリアのネットワーク作りにも力を入れたいと思います。

コラージュ作品を皆さん熱心に見てくれました。

いたる地域ケアセンター（グループホーム部&サポートウイズ）

新GHワルツ開設に向けて



新ワルツの設計図面

杉並区上荻2丁目にあるグループホーム「ワルツ」の契約が昨年の10月に満了し取り壊しを行いました。

その後は再度グループホームとしてスタートします。

新「ワルツ」は、鉄筋3階建てで、1階は「日帰りショートステイ（予定）」、「訪問看護ステーション」、グループホーム2室、2階は6室、3階は5室の合計13室の施設を計画しています。1階に訪問看護ステーションを併設するため、重心も受け入れ可能なグループホームとして、平成28年3月頃までには完成する予定です。

当法人の念願でもありました「終の棲家」としてのグループホームの新たな整備は、介護と看護、医療が相互に連携することで、人生の終末期を迎えても安全・安心に暮らせるようにという、谷山哲浩理事長の熱い想いから実現しました。

「旧ワルツ」の地主である「本村庵」様や地域の方々のご協力、グループホーム職員の尽力があった事も忘れてはいけないと思っています。

今まで「ワルツ」で生活されていたご利用者様は現在、荻窪北マンションで元気に通常に生活を送っています。

荻窪駅からも徒歩7分という便利で静かな環境での生活です。「新ワルツ」が出来あがった際は、またもっと元気な姿を見ることができるよう期待しています。

いたる地域ケアセンターでは、地域福祉ニーズのきわめて高いグループホームの拡充に注力してきました。今後も親亡き後の障害者の皆様の住居整備に努めてまいります。

サポートウイズ

みんなで楽しく みかん狩り

センター長　八巻（やまき）　利子（としこ）

サポートウイズでは毎月利用者様の社会参加を目的に交流と外出を兼ねた支援をその季節に応じて行っています。11月は根府川まで「みかん狩り」に行きました。

行きの電車の中で立って外を眺めている方、自分で鋏を持ち、たわわに実ったみかんを切り、自分で皮を剥いて召し上がる方などがいらっしゃいました。

他ではあまりできないことを積極的に感じていただければと思っています。

支援はヘルパーと一対一ですので初めての方も安心してご参加いただけます。

みかんを手にした笑顔が素敵です

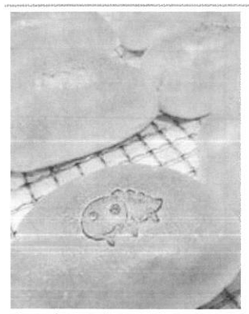
パン工房ＰｕｋｕＰｕｋｕ

地域保育に採用される理由

統括リーダー　池田（いけだ）　史暢（あやのぶ）

プクプクのパン作りは「安心・安全」と「国産小麦100％、天然酵母」を標榜してきましたが、その効果があり、区内に50強ある保育室のうち、14か所へ毎週納品をしています。昨年11月より日大幼稚園へ毎週2百個を納品する等、さらにプクプクパンの地域受入れが進んでいます。これは良質で安心な美味しいパン作りが奏功している結果で、今回は杉並区から区のキャラクター「なみすけ」のパン刻印を区で唯一認められたこともその証となっています。

これからも地域一番店を目指してまいります。



なみすけの刻印が映えてます

ＳｕｎＭａｒｃｈｅ（さんまるしぇ）

お年賀がお奨めです

スーパーバイザー　鈴木（すずき）　健（たけし）

福祉ショップ「さんまるしぇ」のお年賀は多種多様です。

一般的な「年賀タオル」の替りに、目黒区の各障害者施設で作られた「石鹸の詰め合わせセット」や「焼き菓子の詰め合わせ」等、工夫を凝らした年賀商品の数々で店がにぎわい、地域のお客様にご愛顧いただいています。

また、お正月ならではの商品としては、「豆餅」や「のし餅」等が人気です。

今年もそれぞれの季節に合わせた品揃えを心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新年の挨拶にぜひどうぞ